

# 安全人間10か条（210円）ページ見本

「安全人間」とは、ケガや病気から身を守るのできる人。  
 職場だけでなく、家庭で、通勤・帰宅中でも身を守ることができる  
 人のことです。 まず職場で安全人間になるには“どうすればよいか”  
 を考えてみましょう。

## 安全人間になるための3つのキーワード



## 目次 CONTENTS

1	仕事の知識を豊かにしよう	1
2	作業のやり方を身につけよう	2
3	トラブル時の判断力を養おう	3
4	危険の意識を高め“どうするか”の力をつけよう	4~5
5	仕事に責任を持つ心構えを身につけよう ※忘れやすい安全作業のポイント (運搬・玉掛け・手工具・ハンマー・ヤスリ・スパナ・タガネ等)	6~12
6	職場のマナー、エチケットを身につけよう	13
7	安全のルールを守ろう	14
8	職場の安全活動に積極的に参加しよう	15
9	作業に活かそう→ヒヤリ体験・危険予知ミーティング・指差呼称	16
10	家庭で活かそう→ヒヤリ体験・危険予知ミーティング・指差呼称	17

## 1 仕事の知識を豊かにしよう

### ● ルールの意味を知っておく

職場には、職場のまとまり（秩序の維持）をよくするため、数多くの“約束事”（基準、規程や習慣）があります。  
 安全衛生上の約束事（ルール）は多くがその道の先輩の尊い犠牲により作成されています。

●安全基準 ●衛生基準 ●安全衛生心得 ●作業手順書などの守らねばならないことが“なぜ”必要かを知っておくことです。

### わからないことは上司か先輩に確認しよう

### ● 保護具は必ず、身につけよう

保護具を使う時の知識

- ・義務付けられた作業では必ず身につけよう → 横断は禁物
- ・完全なものを正しく使う。
- ・“使いづらい”は理由になりません。
- ・勝手に改造しない。機能をそごうようなことをしてはいけません。
- ・取り扱いはていねいに。常に清潔にしておく。

	安全帽 (ヘルメット)	墜落したとき物が落ちてきた時頭を守る
	防じんめがね	鉄粉やゴミが眼にはいるのを防ぐ
	遮光メガネ (酒接ぎ)	強い光線から目を守る
	防じんマスク (ガスマスク)	ゴミや粉じん、有害ガスの吸い込みを防ぐ
	耳せん	騒がしい音から耳を守る
	保護手袋 (保護カバー)	切り傷、火傷から手、指を守る
	安全靴	足の骨折、打撲を防ぐ

## 7 安全のルールを守ろう

### ルール違反とは

- あわてて代用工具を使い作業する
- 運転中の回転物に指を入れる
- 親綱があるのに安全帯を使用せず高所作業をする
- 安全カバーをはずしたまま作業する
- 防毒マスクを付けないで有機溶剤のスプレー作業をする
- 玉掛け作業中に、吊り荷の下で作業する



### ルール違反をする時の気持ち

面倒だ・やりたくない・前も大丈夫だったから  
 注意されないから

職場は集団作業の場所です  
 職場の秩序維持のため、自分自身の安全のため

自分に厳しく、気まます自制しルールを守り、  
 災害のない職場を築きましょう。



## 8 職場の安全活動に積極的に参加しよう

どの活動にも“ねらい”(目的)があります。

“ねらい”(目的)を理解しましょう。  
 参加のしかたを自分なりに考えてみましょう。

参加することで“どれだけ自分に、または職場に役立っているか、成果をチェックしてみてください。

- 意見を言う、発言できるようにする…………… ●職場会議 ●ミーティング ●危険予知
- 問題点を発見し、“どうすればよいか”…………… ●ヒヤリ報告 反省、改善工夫をする ●改善提案
- みんなで決めたことを実行できるように…………… ●4S(5S)活動 ●指差呼称 ●パトロール
- よいアイデアがでるように…………… ●標語、イラスト応募 創意工夫する ●改善提案

